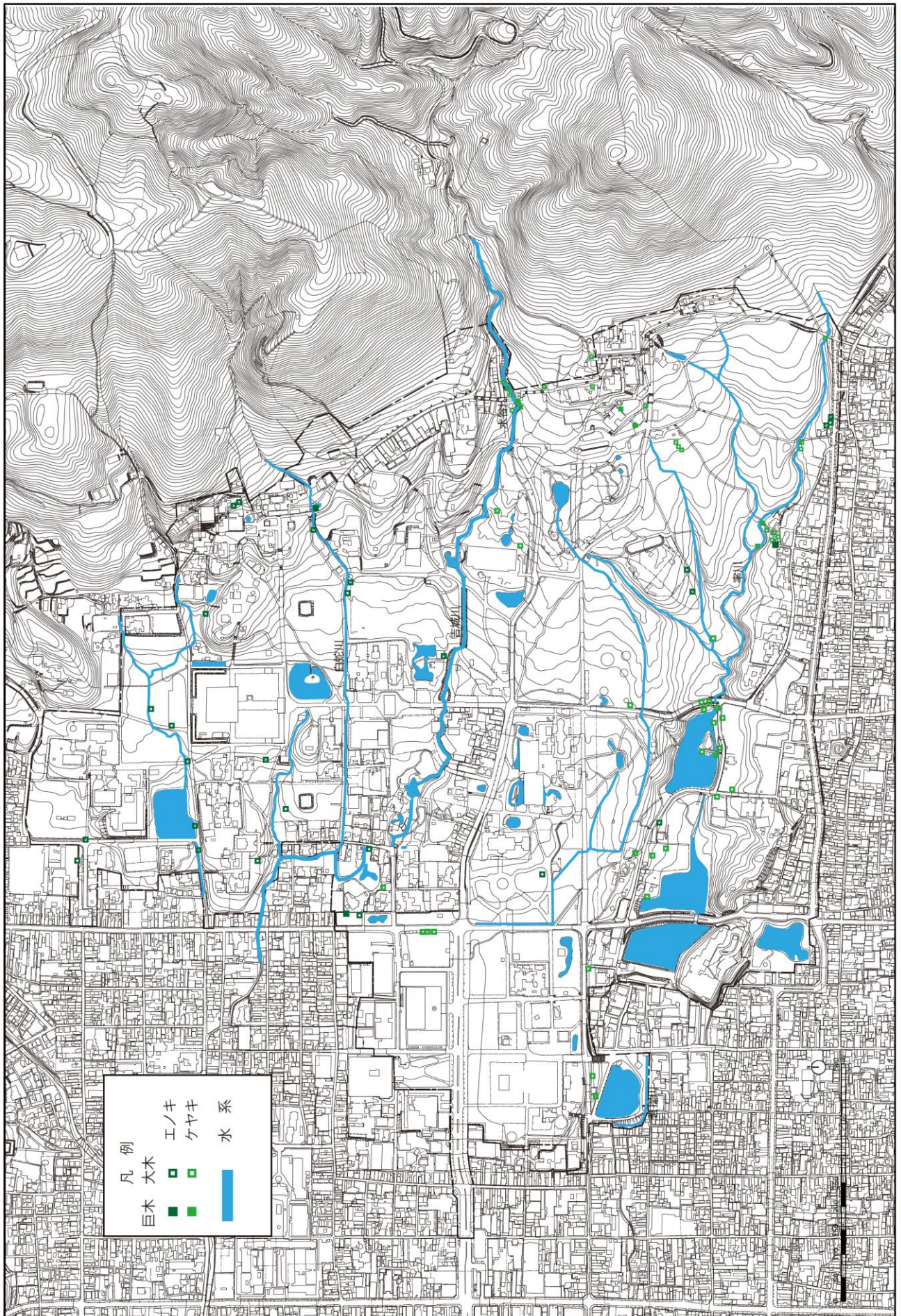




⑦ケヤキ、エノキの分布

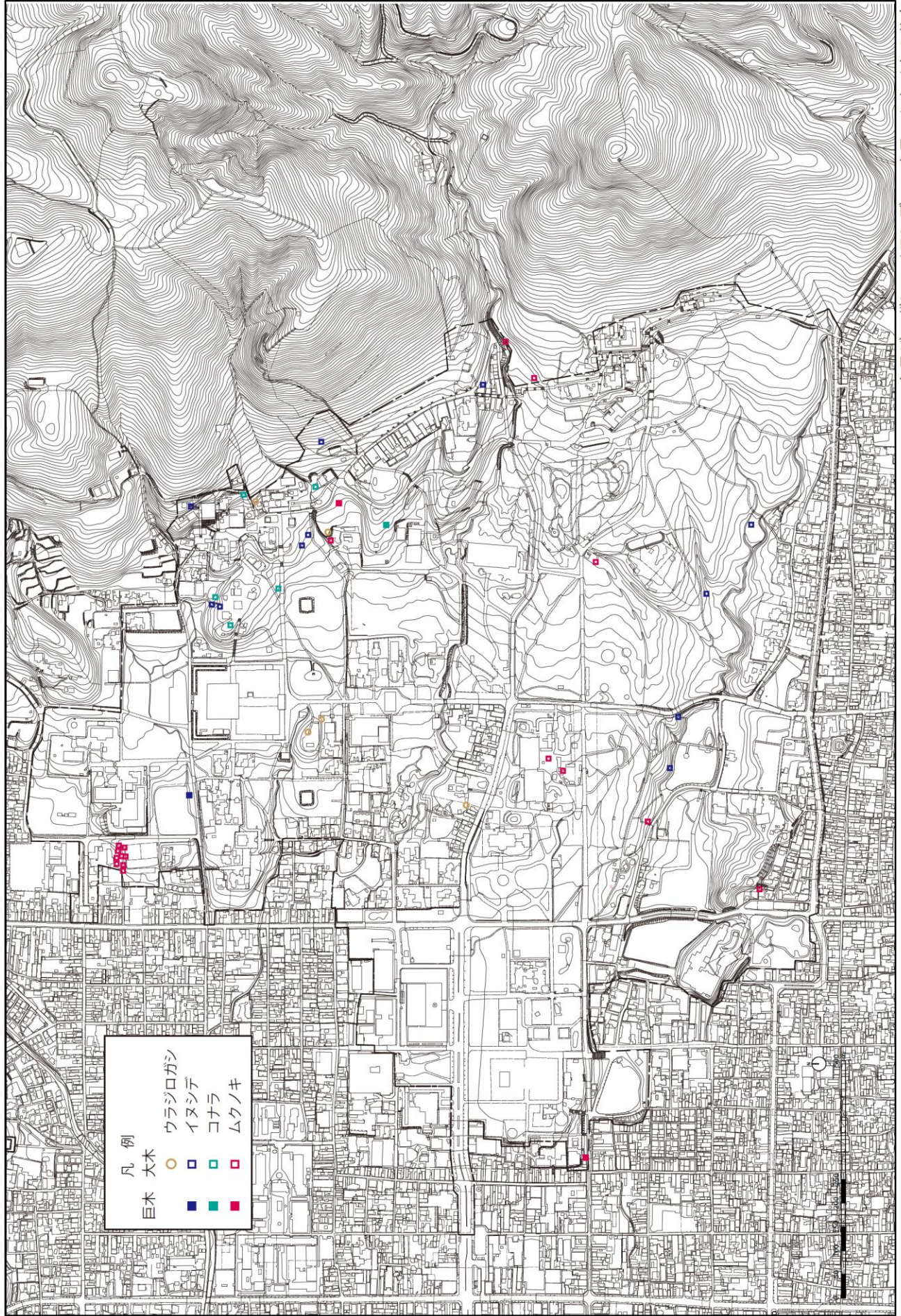
<p>大径木の分布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケヤキ・エノキの大径木は、率川、吉城川(上流部水谷川)、白蛇川などの小河川や支川に沿ったところに分布しており、多くは自然植生であると思われる。</li> <li>・巨木は、春日大社本殿周辺や水谷川に多く見られる。</li> <li>・同じニレ科のムクノキ、アキニレも水系沿いに見られるが、水系と関わりの少ない平坦部や尾根部にも多く見られる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <p>春日大社本殿付近のケヤキ巨木</p> <p>水谷川のケヤキ大木群</p> </div>
<p>特徴・由来他</p>	<p>○紅葉の魅力</p> <p>ケヤキとエノキは共に紅葉が美しく魅力あるが、奈良公園の園路沿いにはケヤキが所々点在する程度であり強い印象はない。紅葉の色彩はエノキが黄色、ケヤキが黄色から赤色になるものが多い。</p> <p>○元来は天然更新</p> <p>奈良公園内のケヤキやエノキは街路樹等を除き、天然更新した樹木であると考えられる。近年はシカの密度が高くケヤキやエノキの幼木は採食されてしまうため、園内にはケヤキやエノキの若木が見当たらない。ケヤキやエノキの天然更新を図るためにはシカの進入抑制区域を設置したり、補植する必要があると考えられる。</p>



図：ケヤキ・エノキ大径木の分布と水系

⑧ウラジログシ・イヌシデ・コナラ・ムクノキの分布

<p>大径木の分布</p>	<p>・ウラジログシ・イヌシデ・コナラ・ムクノキの大径木は、山地の二次林や二次林の要素が断片的に残るところに多く分布しており、大半は自然植生であると思われる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>大仏池のイヌシデ巨木</p> <p>公園館北側のコナラ巨木</p> </div>
<p>特徴・由来他</p>	<p>○背景の自然を構成する樹木 ウラジログシ、イヌシデ、コナラ、ムクノキは各々の性質や特徴が異なるが、いずれも地域の自然植生の要素であり、背景の自然を構成する樹木として重要である。</p> <p>○元来は天然更新 ウラジログシ、イヌシデ、コナラ、ムクノキの多くは天然更新した樹木であると考えられる。近年はシカの密度が高くこれらの樹種の幼木は採食されてしまうため、園内に若木が見当たらない。天然更新を図るためにはシカの進入抑制区域を設置するか、補植する必要があると考えられる。</p>

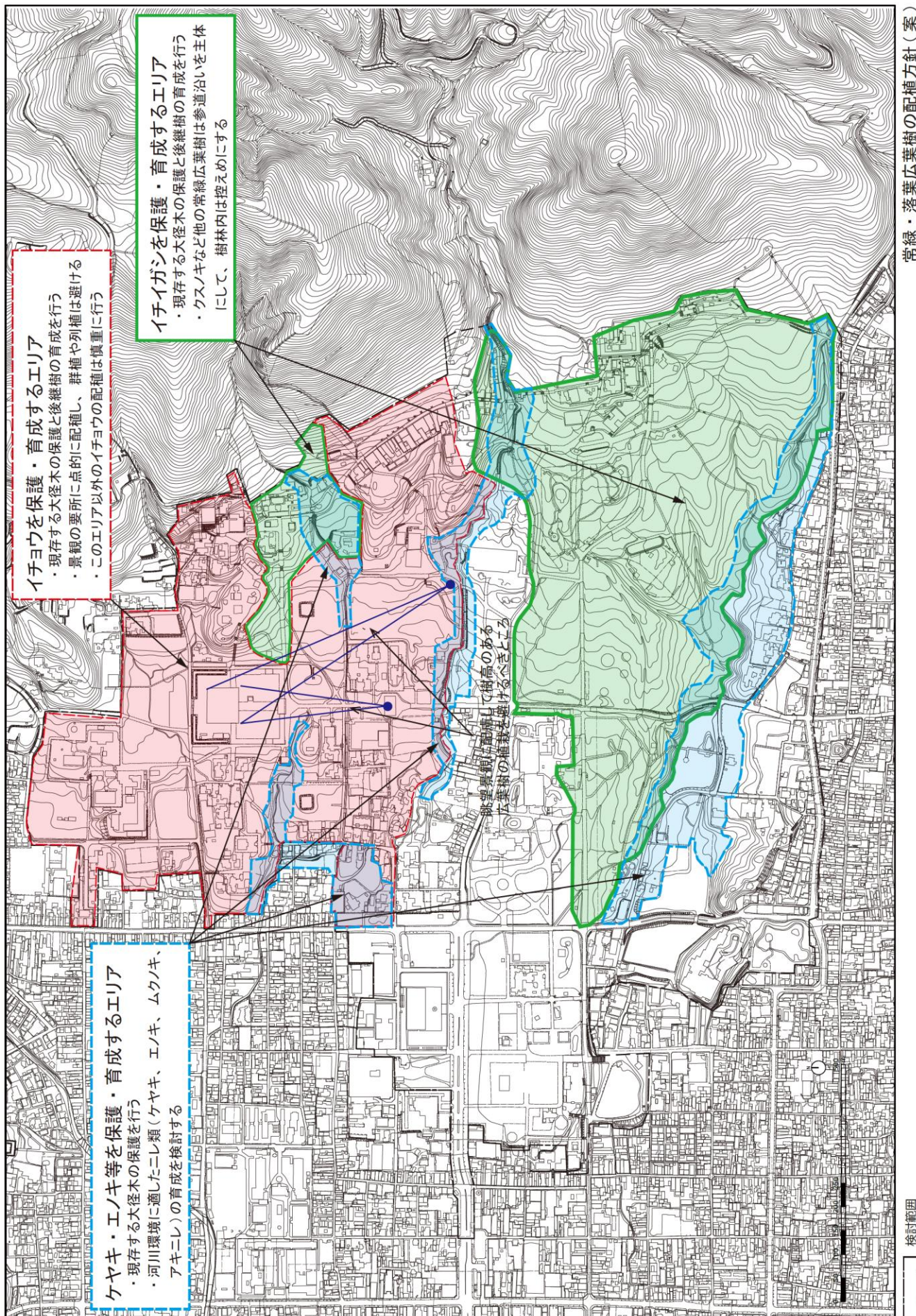


図：ウラジログASH・イヌシデ・コナラ・ムクノキの大径木の分布

## 2) 常緑・落葉広葉樹の配植検討

以下、前述の方針と分布状況に基づき、常緑・落葉広葉樹の配植方針を図に示す。この図は現時点での配植方針（案）であり、今後実施される各ゾーンの植栽計画を検討するための参考資料とする。

### ①配植方針（案）



常緑・落葉広葉樹の配植方針(案)

図：常緑・落葉広葉樹の配植方針図(案)